

平成22年度 京都府立東舞鶴高等学校浮島分校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）

平成22年 4月 5日

学校経営方針（中期経営目標）	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 基礎・基本を習得させるきめ細かな学習指導を充実させる。</p> <p>2 生徒とのコミュニケーションを大切にしたい生徒指導の充実を図る。</p> <p>3 生徒一人ひとりの個性を尊重した教育活動を推進する。</p> <p>4 家庭・地域から信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>（成果）</p> <p>1 生徒とのコミュニケーション（対話）を大切にすることで、問題行動等も減少した。</p> <p>2 きめ細かな進路指導により、昨年度に引続き学校紹介による就職内定率がアップした。</p> <p>3 1年次における原級留置が減少した。</p> <p>（課題）</p> <p>1 個々の生徒へのきめ細かな指導を行う上での校内体制の充実</p> <p>2 生徒への「公共性」を身につけさせる効果的な指導</p>	<p>○ 教育内容の精選・教材の創意工夫を図り、より丁寧な「わかる」授業を行う。</p> <p>○ 検定試験や資格取得への積極的な参加を促す。</p> <p>○ 生徒理解を深めるため、カウンセリングマインドに基づいた個人面談・対話等を重視する。</p> <p>○ 規範意識を高める生活指導を行う。</p> <p>○ 生徒の参加意欲を高める学校行事・生徒会活動を工夫する。</p> <p>○ 部活動の活性化を図る。</p> <p>○ 家庭訪問等により保護者との連携を密にする。</p> <p>○ さまざまな機会を通じて情報提供を行うなど地域との連携を図る。</p>

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
きめ細かな学習指導の充実	基礎・基本を習得させる「わかる」授業の工夫	基礎的・基本的な問題演習に多く取り組ませ、反復することにより基礎学力の定着を図る。		
		教科書を読むことを大切にし、段階的に学習する。		
		視聴覚教材等の活用により授業への関心・意欲を高める。		
		身近な「話題」を教材化し生徒の学習意欲を高める。		
	検定試験や資格取得に向けた学習	漢字検定・英語検定などの資格取得に向けた学習環境を整え、チャレンジさせる。		
	授業に集中できる学習環境の整備	教室の美化・清掃に努め、授業規律を確保し、生徒が授業に集中して取り組める環境を作る。		
	I C T機器の活用	プロジェクター等を使った視覚学習を推進する。		
コミュニケーションを大切にした生徒指導	集団生活におけるマナーの向上	ゴミのポイ捨て等、校内での日常生活におけるマナーの向上を図る。		
		校舎内の完全二足制の定着を図る。		
	食育の指導	日々の食事の大切さを教え、給食の喫食率を上げる。		

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
個性を尊重した教育活動	個人面談・対話の重視	生徒理解を深めるため、カウンセリングマインドに基づいた個人面談・対話等を重視する。		
		生徒の日々の状況を把握し、原級留置・中途退学につながる欠席・欠課・遅刻を防止する。		
		進路面談を効果的に実施し、正社員就職や希望する進学につなげる。		
	部活動・生徒会活動等の活性化	生徒の参加意欲を高める学校行事・生徒会活動を工夫するとともに部活動の活性化を図る。		
	関係機関との連携	関係機関等と連携し、個に応じた支援体制を充実させる		
信頼される学校づくり	家庭・地域との連携	家庭訪問等により、保護者との連携を密にする。		
		さまざまな機会を通じて情報提供を行うなど広報活動を活発に行う。		
	中学校との連携	中学校との連携を密にし、双方向の情報交換を行う。		
	ホームページの更新	ホームページの更新をタイムリーに行い、適切な情報を発信する。		
次年度に向けた改善の方向性				